令和５年度　学校評価自己評価表

学校教育目標
気づいて　考えて　やってみる！
―　自分を大切に　人を大切に　力を合わせて　―

めざす子供像
- ○　チャレンジする子
- ○　思いやりのある子
- ○　考え学び合う子

めざす学校像
- ○　子供が主役の学校
- ○　出会いと感動のある学校
- ○　地域と共に歩む学校

めざす教職員像
- ○　確かな授業力を持つ教職員
- ○　豊かな人間性を持つ教職員
- ○　愛情と使命感に満ちた教職員

分かる喜びを味わい、確かな学力を身に付けた「自ら学ぶ学習者」の育成

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための計画	評価指標（評価方法）	担当	目標値	自己評価(中間)			改善方策	評価(適切かどうか)			学校関係者評価
								達成度	評価		○ 適切	△ まあまあ	× 不適切	コメント
知	教科等での学びを充実させ、生きる力の基礎となる学力を身に付けた児童を育成する。	○基礎基本の学力の定着を図る。	・加計小学習の基本スタイルをつくり、全校で取り組む。 ・県の事業「特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学びプロジェクト」を活用し、授業改善を行う。 ・自由進度学習＋協調学習＋個に応じた指導＝加計小型自由進度学習の確立をめざす。 ・学年ブロック会の充実を図り、常に相談、連携、協力できる横のつながりをつくる。	・単元末テストにおいて、正答率80%以上の児童の割合。 ・標準学力調査で評定２以上をとる児童の割合。	教務部	75%以上 70%以上								
徳	自他を尊重する豊かな人権感覚を持った児童を育成する。	○自己指導能力の育成を図るとともに、思いやりの心を育てる。	・委員会活動の中で「加計っ子五つの約束」（挨拶・返事・履物そろえ・黙動・時間）についてプロジェクトを立ち上げ、全校で取り組む。 ・縦割り班活動の活性化を図り、学年を超えた交流活動を工夫する。	・i-checkにおける「自己肯定感」のスコア80%以上の児童の割合。 ・i-checkにおける「思いやり」のスコア80%以上の児童の割合。	生徒指導部	80%以上								
体	健康・安全への知識と意識を持ち、自らの生活をよりよくする実行力のある児童を育成する。	○体力の向上を図り、心と体を整える。	・新体力テストの課題のある項目に対する重点的な取組を通して体力の向上を図る。 体力テスト（5月）課題項目の決定 再体力テスト（10月・1月） 指標の成果の確認	・新体力テストの課題とした項目において、前回の自己記録を上回った児童の割合75%以上	保健体育指導部	75%以上								
信頼される学校	地域とつながり、教育実践を通して信頼される学校を構築する。	○教職員一人一人が「やりがい」をもって学校運営に参画する。	・学年ブロック会・分掌部会等の横のつながりを大切にして協力して仕事が行えるようにする。お互いを知り、自分の役割を果たすと共に、しっかりコミュニケーションをとり、子ども達の指導にあたっていく。 ・Ｇｏｏｇｌｅクラスルーム等を有効に活用し、情報の共有化を図り、教職員が同じ方向に向かって仕事が行えるようにする。 ・マーチングバンド・加計小百句苑・キャリアボード（1年間で出会った方々の見える化）で地域とのつながり、開かれた学校づくりを推進していく。	加計小業務改善アンケートにおいて「自分の業務にやりがいをもてている」「頼りになる同僚がいる」のそれぞれの項目における肯定的評価の割合。	総務部	85%以上								

評価基準		
	A	達成率が９０％以上
	B	達成率が８０％以上９０％未満
	C	達成率が６０％以上８０％未満
	D	達成率が６０％未満